

DMR-UBZ1 による DVD 鑑賞(2)

1. はじめに

前報(1)に引き続き手持ちの DVD を聴いていきます。

2. DMR-UBZ1 による DVD 再生方法

前報(1)と同様に再生経路です。

今回は、下記の DVD ソフトを視聴します。

Warner Music Vision WPBS-90229

バッハ カンタータ集 6 曲

トン・コープマン指揮アムスタルダムバロック管弦楽団

ユトレヒトピーターズ教会・ナールデン大教会・ドゥースブルグ計量所付属
カフェ収録

BBC OA0816

バッハ カンタータ 179・199・113

ジョン・エリオット・ガーディナー指揮イングリッシュバロックソロリイスト
聖デヴィッド教会収録 (Live)

3. DMR-UBZ1 による DVD 再生結果

バッハのカンタータ集 6 曲は、カンタータ 106 番、131 番、140 番、147 番、56 番とコーヒーカンタータが収録されています。いずれも少人数のアンサンブルと合唱団とソリストで構成され、コープマンが指揮とオルガン演奏やチェンバロ演奏を務めています。教会カンタータは、それぞれ由緒あるこぢんまりとした教会収録で、コーヒーカンタータはカフェでの収録で、柔らかい響きが楽しめます。演奏についてコープマンの英語の解説があり、切れの良い指揮がアンサンブルと合唱と独唱の構成をリードします。

バッハのカンタータ 179・199・113 は、古風な教会収録で、おだやかな表情のガーディナーの指揮で進行します。エヴァンゲリストのテノールとソプラノは高い説教壇からの歌唱で、音像も高めに聴き取れます。教会収録らしく、残響音が豊かで、ソリストの声はよく通り、柔らかい聴きやすい音です。

4. まとめ

バッハのカンタータの 2 枚の DVD は、これまでの種々の対策が功を奏して、以前の印象から脱した音質で観賞することができました。

以上